

## 医師向け訪問診療同行研修を終えて

この度は、医師向け訪問診療同行研修に参加させていただきありがとうございました。お忙しい中、丁寧にご対応いただきました、ひばりクリニック、うりずんの皆様、そして高橋先生に改めまして感謝申し上げます。

今回、研修を申し込みましたのは、在宅での重症心身障害児/者の生活とそこで行われている在宅診療の実際を知りたかったからです。私は医者になって13年、重症心身障害や医療的ケアが必要な児と密な関わりを持つようになって7年程となります。病院や入所施設での診療やケア、そして在宅へとつないでいく過程については、だいぶ経験させていただいたと思います。高橋先生はじめ、在宅医の先生方と連携したり、講演をお聞きしたりする中で、在宅診療についての知識は得ているつもりではありましたが、実際に家で皆さんがどのような生活を送り、そこに医療や看護がどのように関わっているか、どのようなことが必要なのかを確認したいと考えておりました。

幸い、同行させていただいた訪問診療では、3名の重症心身障害児/者のお宅を訪問することができました。決してアクセスが良いわけではない家の立地や造り、その中での呼吸器含めた物品の配置、ご家族の関わりなど、拝見することができたのは日常生活のほんの一部でしたが、家で生活することを実感することができました。大概、母親しかいない日中の生活の中で、病院受診の困難さを想像しつつも十分ではなかったことに改めて気づかされました。本人の体調が悪くなった時の緊急受診は言うまでもありません。医療体制だけでなく、お風呂などの日常生活支援の不足、地域格差を目の当たりにし、幅広い支援の拡充が必要であると感じました。

また、訪問診療だけでなく、日中一時支援をはじめとした、うりずんの様子を見学させていただいたことも貴重な経験となりました。看護師、介護士、保育士の皆さまの対応と、穏やかに過ごされている利用者の方々の様子を拝見し、安心、安全、安楽の標語を体現されていることに驚かされました。一方でこのような素晴らしい空間を維持し、広げていかれることには大変なご苦労があるのだろうとも感じ、研修中に率直に高橋先生へご質問させていただきました。丁寧にお答えいただき感謝いたします。最後に、同行中に先生の診療姿勢を拝見し、大変感銘を受けたこともお伝えできればと思います。先生が患者様やご家族と対話される中には、笑顔、礼節、ユーモアと余裕がありました。医師になり、そこそこの時間が経過する中で、自分の診療に足りなかったものに改めて気づかされた次第です。今回経験できたことを今後の診療に生かして参りたいと思います。ありがとうございました。